

⑤非常時における下校体制について 平成24年4月現在 第15章－(1)－⑤

在校中につきまして、次のようにいたしますので、ご承知の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

	下校体制 (想定例)	下校の仕方	児童の動き	メール配信 及び メール配信用連絡網	なかよしホーム 学童	キッズ	保護者 待機 場所	備考
A タイプ	引き渡し下校 (横浜市震度5強以上の地震・大規模地震警戒宣言発令時の場合)	保護者あるいは親族に 各教室 にて担任より引き渡し ※ 建物内の安全が確保された場合は 、校庭に避難した後に学級に戻り、 各教室 にて担任より引き渡しします。	各クラスに留め置き ↓ 人員点呼後、保護者へ引き渡し	あり ※通信が混乱し、メールが届かない場合も考えられます。 (そのような場合は学校からの連絡は“なし”と想定してください。)保護者は大規模地震の状況を把握したらできるだけ早く学校へ迎えに来てください。	中止	中止	各教室	学校が保護者を確認し、引き渡し
B タイプ	引き渡し下校 (暴風・大雪等の警報が発令された場合)	保護者あるいは緊急引き渡し人に 各教室 にて担任より引き渡し	各クラスに留め置き ↓ 人員点呼後、保護者へ引き渡し	あり	準備が整い次第開設 保護者が迎えに来れない場合、図書室留め置き後、指導員に引き渡し	準備が整い次第開設 保護者が迎えに来れない場合、区分1→図書室留め置き 区分2→キッズ引き渡し	各教室	学校が保護者を確認し、引き渡し
C タイプ	一斉に下校 (不審者対応・横浜市震度5弱以下の地震で集団下校が必要な場合の対応)	コースごとにまとまって下校	学年ごとコース別 ↓ 人員点呼後、集団下校	あり	準備が整い次第開設	準備が整い次第開設 区分1→コースごとまとまって下校 区分2→図書室留め置き後、キッズ引き渡し		職員は安全確保のため、各コースに付添い、児童の下校を確認する。
D タイプ	一斉に下校 (計画停電等、学年単位などでまとまって下校することが望ましいと判断した場合)	一斉にクラスより下校	通常の下校	なし	開設	開設		職員は学校周辺の信号等、危険箇所立つ。

※ **Aタイプ**の場合は、連絡が行き届かない場合でも、**横浜市が震度5強以上・大規模地震警戒宣言発令時**

であることが確認できましたら学校での引き渡しになります。(引き取り人は親族までとします。)

※ 想定はあくまでも例ですので、実際の災害時には、その状況に応じて下校体制を選択します。

※ その他、引き渡しの対応が行われる場合について

- ・南瀬谷小学校周辺の鉄道などの運行状況を確認し、再開の見通しが立たない場合
- ・学校及び周辺の地域が停電となっていて、児童を安全に帰宅されないと判断される場合

※ **登下校中に災害が発生した場合**、その時点で安全が確保される場所(学校・自宅・公園等)に避難してください。

※ **下校後**は学校としての対応が大変難しくなります。このような場合を想定し、各家庭でよく話し合い、対応や集合場所を約束しておいてください。

※ **学校行事実施時(遠足等)**の場合は、原則として学校行事を中止し、ただちに帰校します。帰校後、引き取り下校を行います。

※ メール配信を登録されていないご家庭には、メール配信用連絡網を使い電話でご連絡します。

※ ご家庭の目立つ場所に掲示し、内容の確認をお願いします。

※ **平成23年度9月1日の総合防災訓練・引き渡し訓練はAタイプで訓練を実施し、各教室での引き渡しとなります。**